

2018 母の日ギフトフェア

今年の母の日は、5月13日(日)。当店では、「いろいろどりのありがとうを贈ります」の思いを込めて、お母様が喜ばれるモノを母の日限定商品として取り揃えております。

定番のカーネーションは、大好評の青色系「ムーンダスト」の可愛いギフトボックス入りアレンジメントがお奨め商品です。サイズも価格もお手頃なマイクロ胡蝶蘭「リ・アン」もきっとご満足いただける商品です。その他にも人気のアジサイ鉢や寄せ鉢、珍しい青色緑茶シリーズ、ハーバリウムなど品揃え豊富にご用意して皆様のご来店をお待ちしております。当店オリジナルカードもございます。是非ご利用くださいませ。



キセキのカーネーション「ムーンダスト」。1本 350円～。  
お好みに合せその場で製作いたします。



人気 No1！当店がオススメする胡蝶蘭。  
花言葉は「幸せがまいる」。

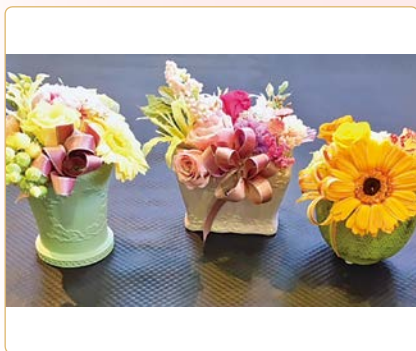
第50回記念号

花物語通信  
No.50

2018.5.13 母の日

＼ご予約はお早めに！／

いろいろどりのありがとうを贈ります



不動の人気プリザーブド  
フラワー、1,800円～。



手のひらサイズの胡蝶蘭  
「リ・アン」 3,000円。



「植物標本」という意味のハーバリウム。母の日  
仕様でたくさんご用意しています。1,000円～。



毎年好評！希少品種アジサイ  
万華鏡限定品！



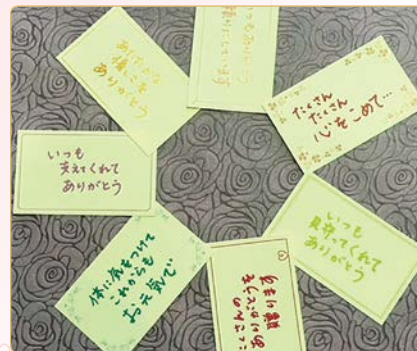
やさしい香りのソープブーケ。  
当店のみお取り扱い品。3,000円～。



海の青をイメージしてつくられ  
た緑茶シリーズ。当店限定商品。



フラワーアレンジメントとハーバリウム  
やお茶・雑貨等、お好みの品々を  
BOXに入れて。2,800円～。



当店ではオリジナルメッセージ  
カードをご用意しています。

※すべて税抜価格です。別途消費税を承ります。

母の日に何故カーネーションを贈るの？

母の日にカーネーションを贈るのは、1909年5月9日にウエストバジーニア教会で「母の日」を祝う礼拝を行った時、アンナが生前の母親が好きだった「白いカーネーション」を祭壇に飾ったのがきっかけです。このアンナの行いにならって、母の日の礼拝で母を亡くしている人は「白いカーネーション」を、母が健在の人は「赤いカーネーション」を胸に付けるようになりました。この習慣がいつしか、母の日にカーネーションを贈る習慣へと変化したようです。

また、キリスト教で「カーネーション」は、キリストが十字架にかけられた時、聖母マリアが落とした涙の跡に生えた花とされており、「母親の強い愛情」を表す花という意味があります。そんな深い意味を持つ母の日のカーネーションですが、アンナのお母さんが好きだった花がたまたまカーネーション…という事でしたので、現代は、お母さんの好きなお花を贈ることが多くなりました。



# 花のある暮らし ～花の魅力を伝えたい～



皆さんは、花がお好きですか。お気に入りの花はありますか。

皆さんにとって花の魅力とは何でしょうか。私達の生活の中で花はいつも身近にあるものです。冠婚葬祭においてもそれは欠かせないもので

す。特別な日はもちろんですが、毎日の暮らしの中で一輪の花をさり気なく飾るだけで気持ちが和らぎます。

先の母の日特集記事では、カーネーションにまつわる由来等をお届けしましたが、カーネーションそのものも近年は品種改良が進み、様々な色・形のものが出回るようになりました。

中でも抜群の日持ちで、あの飲料メーカー『サントリー』の技術開発により生まれた、青色系カーネーション“ムーンダスト”は、青いバラの開発過程の中で誕生したという、奇跡の産物。落ち着き



のある上品な出で立ちに心が和むことでしょう。

青色系と言えば、紫のバラも近年人気です。バラ公園を散策するとバラの優しい香りが漂ってきますが、最も芳香性が高いのは、紫系のバラのようです。



そしてこの季節しか出回らない“スズラン”も良い香りがしますね。花丈が20～30cmと大変短い為、ブーケと言うよりはアレンジ向きのお花ではありますが、全国生産高でトップなのは飯山市であることをご存知の方は少ないことでしょう。

『花』にはパワーがあります。そこに一輪の花があるだけで優しい気持ちになったり、元気をもらえます。まずはお部屋に一輪、お花のエネルギーをもらい身も心も健やかに過ごしませんか？



## 連載「暮らし彩時記」No.4

### 5月～皐月の章～

5日〈立夏〉夏のはじまり。初夏がやってきます。この時期が年間を通して、最も爽やかな季節です。木々は青々と芽吹き、太陽の光を浴びてすくすくと伸びる若葉は目にも眩しく光ります。

21日〈小満〉作物が満ちてくることから小満と呼ばれます。小満を過ぎれば、次に訪れるのはしつとりとした梅雨、そして夏へと続いていきます。

5月26日～6月10日まで、「信州なかのバラまつり」が一本木公園にて開催されます。今年では25周年という記念の年だそうです。850種3,000株のバラが咲き誇る公園は、毎年たくさんの方が訪

れる北信地域の観光スポットとなりました。中野市の市花はもちろんバラですが、もうひとつシャクヤクも市花なのですね。高貴な美しさを漂わせ豪華で見応えがある花です。中野市では、昭和40年以降シャクヤクの栽培に取り組み、現在40品種毎年190万本以上を出荷して日本一なのです。

### 6月～水無月の章～

6日〈芒種〉稲や麦など穂がある作物の種を播く頃。稲の穂先にある針のような突起を芒と呼びます。

21日〈夏至〉1年一番日が長く、夜が短くなる頃。これから、夏を迎えるのに日照時間は冬に向かって少しずつ短くなっていきます。

(記 吉田智子)

## 花物語

### ちいさなお庭

当店駐車スペース南側に、ちいさな庭がこの度誕生しました。宿根草をはじめ四季折々の花で彩られた空間をどうぞお楽しみください。また、植栽されている苗木は販売もしております。お気軽にスタッフにお申し付けくださいませ。



## 6月

### ハーバリウム講座のご案内

毎回大好評により定期開催させていただいております《ハーバリウム講座》6月のご案内です。

テーマは“爽やかな彩のハーバリウム”と題し、

来たる6月14日(木)13時半より開催いたします。尚、5月30日(水)、中野市・中央公民館でも開催することが決定した講座は、大好評により定員となりました。季節の彩りを楽しみながら作るハーバリウム、是非ご参加をお待ちいたしております。

## ごあいさつ

2018年の幕開けから気づけば、木々の黄緑色がまぶしく輝く5月の季節を迎えました。

『花物語通信』もおかげさまをもちまして、今回50号の記念号を発刊、皆様にお届けすることができました。

何名かのスタッフにバトンを譲り、お花にまつわる様々な情報やご案内をさせていただいておりますが、毎月楽しみにされている方や、大切に保管されていることをお聞きすると、とても身が引き締まる思いがいたします。

時代の流れとともに花の役割も少しずつ変化し、性別・年代を超え

て店の扉を開く方が多く見受けられるようになりました。バラの本数を指定され花束を持ち帰る若い青年、照れくさそうに記念日の花を抱えてお帰りになるご老人、花一りんの表情をじっと眺め、嬉しそうに帰る若い女性…いずれのシーンにもその先の『笑顔』が垣間見える心地よい時間がそこにあります。

これからの時代はより核家族化が進み益々“憩い”“癒し”“ふれあい”が希薄になっていくように思われますが、そんな中でいつでも皆様の『花を贈る』気持ちに寄り添える『花物語』でありたいと願っています。今後とも末永くご愛顧くださいますようお願いいたします。

店主



〒383-0041 中野市岩船424-3 (西友前)

\*TEL 0269-23-2380 \*FAX 0269-23-2387 \*E-mail hanaippai1187@gmail.com

\*営業時間 午前9:00～午後6:30 (日曜・祝日は6:00閉店) \*URL <http://hanaippai.net/>